

私立大学図書館協会東地区部会研究部
2016年度第2回運営委員・研究分科会代表者合同会議議事録

日 時：2016年11月11日（金） 12：30～13：40

場 所：明治大学 駿河台キャンパス 中央図書館 1F 会議室

出席者：青木みちる（学習院大学）・秋場理世（白百合女子大学）・佐藤友治（文化学園大学）
新井和之（成城大学）・齋藤雅彦（専修大学）・鈴木 努（早稲田大学）・
吉田千草（明治大学）・吉田真希子（慶応義塾大学）

【事務局】佐々木俊介・大谷亜紀（桜美林大学）

【研究分科会代表者】

- ① 分類研究分科会 鈴木 学（日本女子大学）
- ② パブリック・サービス研究分科会 常盤哲平（文教大学）
- ③ 西洋古版本研究分科会 ティムソン ジョウナス（早稲田大学）
- ④ 和漢古典籍研究分科会 松下 賢（駒澤大学）
- ⑤ レファレンス研究分科会 長谷川敦史（早稲田大学）

議事概要：

1. 2016年度研究会（交流会）について、資料1に基づき次第が確認された。
2. 夏期研究合宿（集中研究会）について、資料2-1～5に基づき報告された。
3. 研究部報告書原稿・会計報告書について、研究部担当理事校から提出期限等近日中にお知らせすることが案内された。
4. 2017年4月からの次期研究部について、資料3に基づき、研究部担当理事校より選出について依頼中であることが報告された。
5. 研究分科会の謝礼金処理について資料4に基づき説明があり、第6回運営委員会でマニュアル改訂について了承されたことが報告された。
（和漢古典籍研究分科会）謝礼金（収入）が発生した場合の処理について、そのつど処理すべきか、それとも年度末会計処理とすべきか。
（研究部担当理事校）部会長校等と協議し、今期中にマニュアルに掲載する。
6. 今後の研究部の活動について
（西洋古版本研究分科会）一般企業（書店）から加入の問い合わせがあった。研究分科会マニュアルにある通り、オブザーバー会員としての加入に支障はないが（4. 会員の区分）、かつて同様のケースがあり、図書館員よりも古書店のメンバーの方が増え、その後は断ってきた経緯があった。どのようにしたらよいだろうか。
（運営委員会）マニュアルにある以上差し支えないと判断する。オブザーバー会員には、研究分科会の主旨を理解していただき、そこから逸脱しないよう代表者にリーダーシップを取ってほしい。何かあれば研究部に相談してほしい。
（運営委員会）月例会の広報文掲載については、年度内は継続し、次期運営委員会で再度検討する。研究分科会ホームページについて、今期の協会ホームページ委員会で結論は出なかった。広報強化のためにも次期運営委員にも引き継ぎたい。
7. 特になし。

以上、議事を全て終了し、閉会した。